

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳 131 道徳 231 道徳 331 道徳 431 道徳 531 道徳 631	あたらしいどうとく 1 新しいどうとく 2 新しいどうとく 3 新しいどうとく 4 新しい道徳 5 新しい道徳 6
取 扱 内 容 〔 学 習 指 導 要 領 の 道 徳 の 目 標 、 内 容 等 〕	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生命の尊厳について 第1,2学年では、心臓の音を聞いてどのようなことを感じるか、どのようなときに生きていると感じるかを考える活動等、第3,4学年では、どのようなときに命のつながりを感じるか、どのようなときに命の尊さを感じるかを考える活動等、第5,6学年では、自分や他人の生命についてどのようなことを大切にしているか、人の命を守るために努力しているのを見たり聞いたりしたときどのような気持ちか話を話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。 ○ 自然について 第1,2学年では、動物や植物の世話をするときどのようなことに気を付けているか、自然や生き物を見たりさわったりしたときどのようなことが心に残るか考える活動等、第3,4学年では、身近な自然を大切にするためにしようと思うか、これまで自然や生き物にどのように接してきたかを考える活動等、第5,6学年では、身近な自然を守るためにできることはどのようなことがあるか、自然環境の問題はどのようなことを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。 ○ 伝統と文化について 第1,2学年では、自分の住む町や国の好きなところはどのようなところかを考える活動等、第3,4学年では、外国の人に知ってもらいたい日本のよさはどのようなものがあるか、自分の生まれ育った町で大切にされているものはどのようなものかを考える活動等、第5,6学年では、自分の生まれ育った地域で大切にされている伝統や文化にはどのようなものがあるか、自分の生まれ育った地域のよさを守るためにできるかを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。 ○ 情報化への対応について 第1,2学年では、いたずらや嘘が広がるとどのようなことになるか、命はいくつもあるのか命が大切な理由はどのようなことかを考える活動等、第3,4学年では、約束やきまりを守ってよかったと思ったことはどのようなことがあるか、よく考えてよかったことやよく考えなくて失敗したことはどのようなことがあるかを考える活動等、第5,6学年では、よく考えて守らなければならないきまりにはどのようなものがあるか、携帯電話と賢く付き合うためにはどのようなことが大切かを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。 			
内 容 の 構 成 ・ 排 列 、 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列 言語活動については、コミュニケーションを通して道徳的価値を深める「出会う・ふれ合う」を配置し、問題解決的な学習については、問題の解決を段階的に考える「問題を見つけて考える」を配置し、体験的な学習については、体験活動との関連を図った教材を配置するなど、児童が多面的・多角的に思考できるよう工夫されている。 ○ 内容の分量※ 第1学年～Aは12教材、Bは9教材、Cは10教材、Dは6教材、Eは1教材、全体で38教材であり、総ページ数は118ページとなっている。 第2学年～Aは10教材、Bは9教材、Cは10教材、Dは9教材、Eは2教材、全体で40教材であり、総ページ数は138ページとなっている。 第3学年～Aは10教材、Bは9教材、Cは14教材、Dは8教材、Eは2教材、全体で43教材であり、総ページ数は160ページとなっている。 第4学年～Aは11教材、Bは9教材、Cは13教材、Dは8教材、Eは2教材、全体で43教材であり、総ページ数は164ページとなっている。 第5学年～Aは8教材、Bは8教材、Cは16教材、Dは9教材、Eは2教材、全体で43教材であり、総ページ数は176ページとなっている。 第6学年～Aは10教材、Bは8教材、Cは13教材、Dは10教材、Eは2教材、全体で43教材であり、総ページ数は192ページとなっている。 			
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に、自分の成長を見取る「学習のふり振り返り」、1年間の学習を振り返る「かがやく自分に」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童が自らを振り返るための工夫がなされている。 ○ 各学年に、家庭や地域との連携を促す「付録 つながる 広がる」を配置し、家庭や地域との連携を深めるための工夫がなされている。 ○ 道徳の学習の進め方を示すページを設けたり、全ての児童が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどを採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。 			
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道と関連のある教材は、「旭山動物園（旭川市）」など9箇所取り上げられている。 ○ いじめ問題については、自分にとって、友達とは、どのような存在かを話し合う活動等を取り上げている。 			

※ 「内容の構成・排列、分量等」の「内容の分量」のAは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。